



●この取付け説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意**

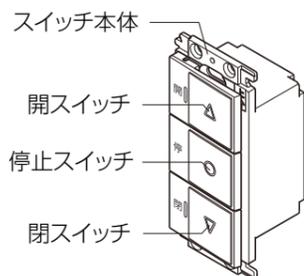
●電気配線工事は、必ず電気工事の有資格者が行ってください。漏電・感電・火災の原因となるおそれがあります。

■取付け上のお願

- この商品はAC100V専用です。他の電圧は使用しないでください。
- スイッチは「窓シャッター-PRS」「窓シャッター-SRS」専用のものをお使いください。配線前にスイッチの品番を確認してください。(スイッチ本体の裏面に表示してあります。)
- 1個の壁スイッチで複数のシャッターの開閉はできません。
- 屋外や浴室など湿気の多い場所へは取付けないでください。
- 直射日光の当たる場所や暖房器など熱源に近いところへは取付けないでください。
- 腐食性ガスや可燃ガスの発生する場所および薬品を常時使用するような場所には、取付けないでください。
- パネル押さえ金具・スイッチボックスは、市販品をご使用ください。
- 窓シャッター-PRSは必ず過負荷感度の設定を行ってください。

■各部の名称および部品明細

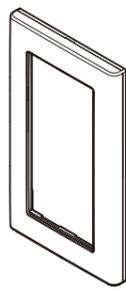
●スイッチ



●皿小ねじ M3.5×5 (2本)  
(プレート枠に組込み)

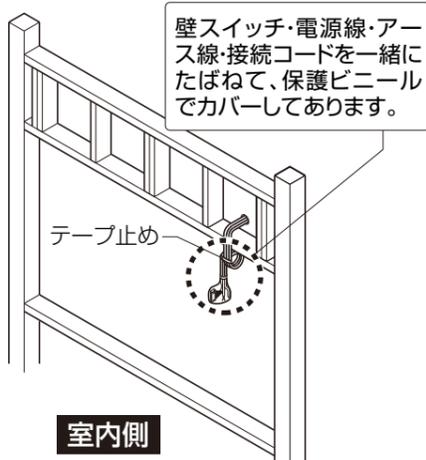
●皿小ねじ M4×25 (2本)

●プレート(1セット)



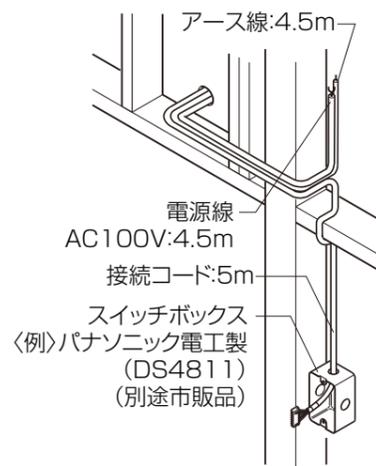
●ナベタッピンねじ φ4×16 (2本)

■電気工事店さま引渡し状態



■配線手順

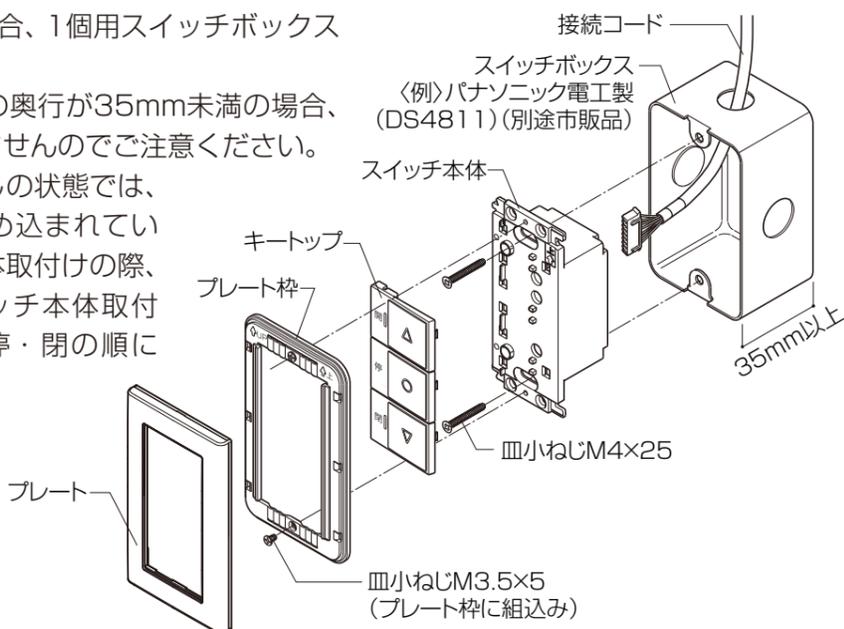
●図のように電源線・アース線・接続コードをそれぞれ所定位置へ配線してください。配線において、造作材の貫通および固定作業は、電気工事の有資格者に施工させてください。壁スイッチの取付け方法は、次項を参照してください。



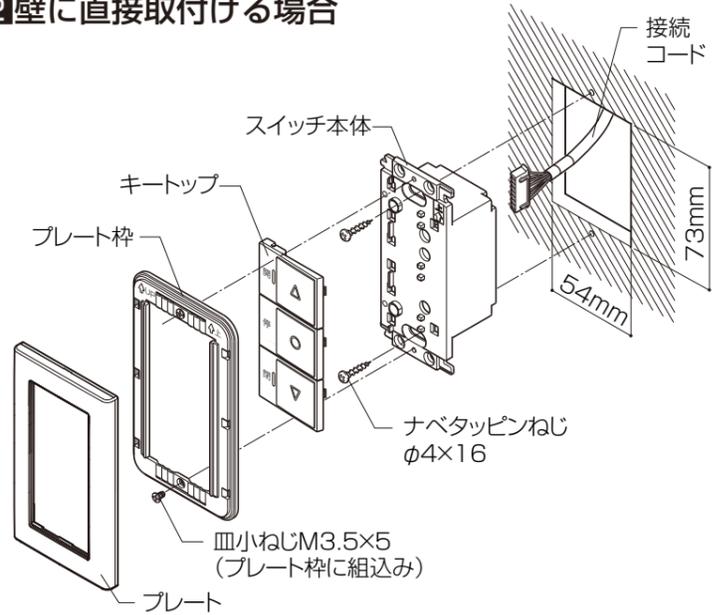
■取付け順序

1 スイッチボックスを使用して取付ける場合

- 本機1個取付ける場合、1個用スイッチボックスをご使用ください。
- ※スイッチボックスの奥行が35mm未満の場合、本機は取付けられませんのでご注意ください。
- ※キートップは引渡しの状態では、スイッチ本体にはめ込まれています。スイッチ本体取付けの際、一度取外し、スイッチ本体取付け後、上から開・停・閉の順に付直してください。

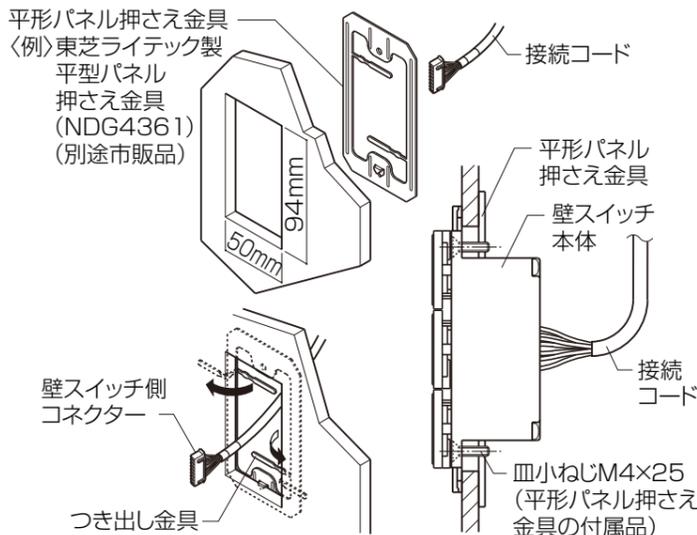


2 壁に直接取付ける場合



3 パネル押さえ金具で取付ける場合

- ①右図の壁穴あけ寸法にしたがって、壁に穴をあけます。
  - ②平形パネル押さえ金具の突起をドライバーなどで壁に食い込ませます。つき出し金具を手前に折り曲げて仮固定します。
  - ③壁スイッチ側コネクタを壁スイッチ本体に接続し、平形パネル押さえ金具付属の小ねじで壁に取付けます。
  - ④つき出し金具をペンチで切断します。
  - ⑤プレート(付属品)を取付けます。
- パネル押さえ金具は、平形パネル押さえ金具をご使用ください。



■接続コードの接続方法

●接続コードのコネクターを壁スイッチの接続端子に差込みます。この場合、コネクターについている突起が入るまで押込んでください。

